

# 決算特別委員会

(2・3ページ)

平成14年度一般会計歳入歳出決算の審査状況から、主なものをお知らせします。

## 賛成討論

**府中市議会公明党**  
平成14年度は、スクラップアンドビルドの事業展開をした年であると評価する。  
歳入では、府中の森芸術劇場等の駐車場使用料や校庭の夜間照明の有料化等の取組みも進められ、積極的な財源確保を図ってきた。  
また、28の新規事業が実施され、中でもNPO・ボランティア担当及び緑化担当市政ディレクターの設置、中央図書館あり方検討協議会等の設置は、文化、教育、環境まちづくりの欠かせない視点であり評価する。  
今後、市民や議会と協働のソフトパワーの結集を図られることを強く要望し、本年度決算に賛成する。

**府中市議会市政会**  
平成14年度は、「安心でいきいきと暮らせるまちづくり」をはじめとした4つの柱を基本に、各施策が実施された年と評価する。  
各種保健サービス、介護サービスの充実や乳幼児医療費助成制度について子育て家庭の負担を軽減するなど、福祉、子育て支援の充実を図るとともに、男女共同参画の拡大や青少年の健全育成、国際化と都市間交流の推進など、多方面にわたり事業を推進してきた。  
平成14年度の予算執行状況は、各項目で創意工夫が見られ、多くの市民の要望を少しでも実現させようという努力が見られ、その実績を高く評価し、本年度決算に賛成する。

## 反対討論

**日本共産党府中市議会議員団**  
平成14年度は、国の構造改革による痛みが、国民各層に広がった年であった。  
市内でも、給与所得の減少や所得格差の拡大など、年々、市民の暮らしが厳しくなっている。  
そのような中、市は、はり・きゆう・マッサージの廃止、敬老金の見直しによる高齢者福祉施策の縮小など、財政危機を理由にした市民サービスの削減を行った。  
しかし、府中市財政はもとも危機と言えるような状況ではないと思う。  
民間と行政の仕事を単純にコストの面から比較し、民間委託化を論じるのは短絡的と考える。  
市民の暮らしを守る市政への転換を求め、本年度決算に反対する。

**生活者ネットワーク**  
平成14年度は、不況によるリストラや失業率の悪化により、日常生活への不安がますます深まる中、市は、府中駅南口第三地区市街地再開発事業に対して、一般会計からの支出を行うなど、一般会計への負担を生み出した。  
また、榊原記念病院は、診療科目とその内容から、本当に市民が待ち望んだ地域密着型の病院になったのか、多くの疑問が残るものとなった。  
住基ネットは、個人情報流出の心配や、本当に市民にとって便利になるのかなど疑問も多い中、十分な議論がないまま本格稼働への準備が進められた。  
以上の主な理由により、本年度決算に反対する。

## 市税の不納欠損

### 主な理由と今後の見込みは

**委員** 市税の不納欠損額が総額で3億8300万円となり、前年度と比較して増えているが、その主な理由と、今後の見込みについて聞きたい。  
また、悪質な滞納者についての対策は、**納税課長** 不納欠損が倍増している主な理由は、企業の倒産1件のみで全体の67・9%であったためである。今後の推移見込みは、不良化した税債権を整理する必要がある程度で、ある程度のレベルで増えていくと考えている。  
滞納者の対策は、差押え処分等の滞納整理を進めることが、税収確保につながるかと考える。  
更に悪質な場合は、換価処分等をして税に配当する。

## 歳入

### 駐車場の有料化

#### 各施設の収入額は

**委員** 平成14年度から市の3施設の駐車場が有料化となった。  
そこで、各施設の収入額を聞きたい。  
また有料化前と比べて、車での利用者の推移は。  
**文化コミュニケーション課長** 府中の森芸術劇場の駐車場は769万5000円で、駐車台数は、あまり変化していない。  
**住宅勤務課長** 府中の森市民聖苑は、207万1700円で、有料化前は、入庫計数の機械を設置していないため、駐車台数の統計はない。駐車場の満車日数は増えている。  
**生涯学習課長** 生涯学習センターは、455万2000円で、駐車台数は減っている。

## 歳出

## 再任用制度

### その成果と考え方は

**委員** 平成14年度に、新たに再任用制度が始まった。定年を迎えた職員が、市役所の中で、今後ますます知識や様々な技術を活用していくことは、効果のあることと考える。  
そこで、再任用制度の成果と考え方について聞きたい。  
**総務部次長** 再任用制度は、高齢者の知識や経験を公務職場に活かすことを踏まえ、新たに導入された。  
平成13年度の退職者は55名で、そのうち、平成14年度再任用職員は25名であった。  
退職者全員を新規採用した場合と比較して、人件費費およそ1億2900万円ほどの削減効果があったものと考えられる。

## 病後児保育事業

### 市の評価と課題は

**委員** 平成14年度に新たに始まった病後児保育事業は、372万円の予算が計上され、71人の登録があり、延べ26人が利用したとなっている。  
この実績に関して、市の評価と課題を聞きたい。  
**保育課長** こども家庭支援センター「しらとり」で新たに開始した病後児保育事業は、病気の回復期にある児童を、一時的に預かるものであり、働いている保護者にとつてのセーフティーネットとして、非常に有意義な事業であったと考える。

## 14年度の

### リサイクル率は

**委員** ごみ減量とリサイクルを推進する施策が、展開されているが、平成14年度の可燃物、不燃物のリサイクル率を聞きたい。  
また、クリーンセンターで実施している平成14年度の再生自転車の実績は、640台であったようだが、再生できなかった自転車は、どうしているか。  
**リサイクル課長** リサイクル率は、26・4%である。  
**地域安全対策課長補佐** 再生自転車は、市民の要望が多く、今後も、再生の効率化を図っていきたい。

## 中央図書館あり方検討協議会

### 提言後の市の取組みは

**委員** 中央図書館あり方検討協議会の提言が昨年10月に出された。  
図書館の運営は、いくら施設が立派でも成り立たない。市民は質の高いサービスを期待していると思う。  
そこで、この検討協議会の提言を今後どう取り扱っていくか考えなにか聞きたい。  
**図書館長** 検討協議会からは、図書館のサービスの内容等について様々な提言があった。



▲平日は午後8時まで開館しています

例えば、市民と協働する観点から、ボランティアとの協働事業の取組みの提言があるが、各市の状況を調査しながら検討していきたい。  
今後は、多くの提言内容に優先順位を付けて実施していきたいと考えている。